

学校・家庭・生徒、一丸となって進路を切り拓く

先日は、授業参観・学年懇談会にご来校いただきありがとうございました。学年懇談会では、進路担当からもお話しさせていただきました。要項に文書を掲載していなかったこと、また時間の都合で要点のみのお話になってしまったため、進路だよりにて改めてお伝えします。これらの内容は、生徒たちにも伝えたことや、これからも伝えていく内容になります。ご家庭でも、ぜひ話題にしてください。

1. 支え合って進路を拓く

日々成長する生徒たちですが、進路選択にはまだ保護者の方のご協力が必要です。とくに、お金（経済面）や各種手続きについては、保護者のご協力が不可欠です。応援してもらえる人でいられるように、と日々生徒に指導しておりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いします。

2. 書類提出・手続きは期限厳守で

進路に関する手続きには、県や高校に送るものもあります。外部に関する手続きは、締め切りをすぎるとどうにもできません。中学校からは生徒への連絡に加えて、保護者のみなさまには tetoru、ホームページ、進路だよりにてお伝えします。ご家庭での手続きののち、校内での点検や作業があったり、不備があれば差し戻して再提出をお願いしたりすることもありますので、時間に余裕をもってお手続きください。

ここ数年、出願のシステムがどんどん変わっています。お兄さんやお姉さんがいるご家庭についても、変更されている部分もありますのでご注意ください。

3. 学校見学に行きましょう

学校見学を通して、学校の特性や本人との適性を感じることが大切です。中には保護者が同伴できるものや、同伴が必要なものもあります。通学のことや費用のことなど、ぜひ情報を集めてください。推薦受験等で、学校見学や相談会への参加が必要な学校もあります。見学会の日程については学校ごとさまざまですが、基本的には土日開催で、夏休みに多く開催されます。上級学校から届いた案内チラシを生徒に配付することもあります。各自 HP 等で情報を集めるとよいと思います。参加申し込みについては、多くの学校が、家庭から直接申し込む形になっています。中学校を通して申し込む学校については、進路担当までお伝えください（体験入学・学校見学については、次号でも説明します。）。

4. どんなことでもいつでもご相談を

情勢が日々変わりゆくため、常に最新の情報を入手するよう努めています。進路に関する質問については、その都度、相談をしてください。最善の選択ができるよう支援します。

これまでも、保護者会を待っていて、進路選択の決断が遅くなってしまうということもありました。保護者会や進路説明会以外でも、いつでも担任までご相談ください。

